



**JT Group**

# 2024年度 第3四半期 決算説明会

---

**古川博政**

JT Group CFO

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、財務諸表の数値と異なる場合があります。

※用語の定義については、スライド20以降に記載しております。

# 将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予想しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。

その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

1. 喫煙に関する健康上の懸念の増大
2. たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
3. 国内外の訴訟の動向
4. たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
5. 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
6. 市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・行動の変化及び需要の減少
7. 買収やビジネスの多角化に伴う影響
8. 国内外の経済状況
9. 為替変動及び原材料費の変動
10. 自然災害及び不測の事態等

# 2024年度 第3四半期実績

---

# 2024年度 第3四半期 全社実績： たばこ事業が引き続き堅調なトップライン成長を牽引

(億円)	2024年 1-9月	前年同期比
為替一定ベース		
Core revenue	<b>22,140</b>	+6.8%
調整後営業利益	<b>6,817</b>	+2.6%
財務報告ベース		
売上収益	<b>23,933</b>	+11.0%
調整後営業利益	<b>6,725</b>	+1.2%
営業利益	<b>6,366</b>	+0.8%
四半期利益	<b>4,424</b>	+0.1%
FCF	<b>2,605</b>	▲1,598億円

## 売上収益・調整後営業利益

- 売上収益は、主に底堅いプライシング効果が牽引したたばこ事業における増収が、医薬事業における減収を上回り、増収
- 調整後営業利益は、たばこ及び加工食品事業における増益が、医薬事業における減益を上回り、増益

## 為替影響（たばこ事業）

- 調整後営業利益においては、円安によるポジティブな影響はあるものの、一部新興国通貨安及びコスト関連通貨高の影響を主因として、ネガティブに発現

## 営業利益

- 調整後営業利益の増加により増益

## 四半期利益

- 営業利益の増加等が金融損益の悪化を相殺し、前年同期と同水準

## FCF

- 調整後営業利益の増加を、運転資本の一時的な悪化影響が上回り、減少

注：IAS第29号超インフレ会計の適用に伴い、上記の表に記載の財務報告ベースの実績は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースの実績は、特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について、一定の算定方法を用いて控除しています。

# たばこ事業 数量実績：上半期の好調なモメンタムが継続



(億本)	2024年 1-9月	前年同期比
総販売数量	<b>4,195</b>	+2.2%
Combustibles 販売数量	<b>4,116</b>	+1.8%
GFB販売数量	<b>3,073</b>	+4.0%
RRP販売数量	<b>79</b>	+22.8%

## Combustibles

- 多くの市場でシェアモメンタムが継続
- GFB販売数量はWinston及びCamelの牽引により、前年同期比4.0%の増加
- EMAクラスターにおける力強い数量成長
  - 新興国における力強いモメンタム
  - 堅調な総需要
  - アジアを中心としたGlobal Travel Retailにおける回復
- 日本、フィリピン、英国におけるCombustibles総需要の減少

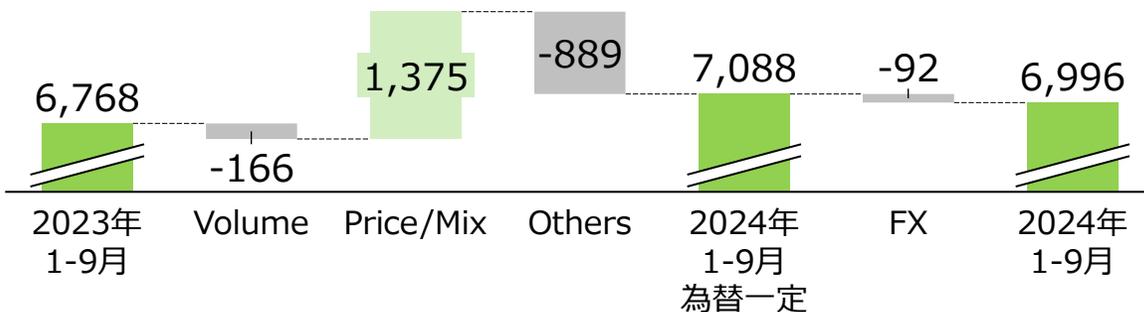
## RRP

- 日本におけるHTSカテゴリ内シェアの伸張
- Ploomの地理的拡大による販売数量の増加

# たばこ事業 財務実績：プライシングが引き続きトップライン成長を牽引

(億円)	2024年 1-9月	前年同期比
自社たばこ製品売上収益	<b>21,224</b>	+12.2%
(同 為替一定)	<b>20,325</b>	+7.5%
調整後営業利益	<b>6,996</b>	+3.4%
(同 為替一定)	<b>7,088</b>	+4.7%

調整後営業利益 増減要因 (億円)



注：IAS第29号超インフレ会計の適用に伴い、上記の表に記載の財務報告ベースの実績は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースの実績は、特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の増加分について、一定の算定方法を用いて控除しています。

## Volume

- 市場構成比の悪化により、調整後営業利益における数量効果はネガティブ

## Price/Mix

- 多くの市場において堅調に発現したプライシング効果が、ダウントレーディングによる製品Mixの悪化影響を上回る

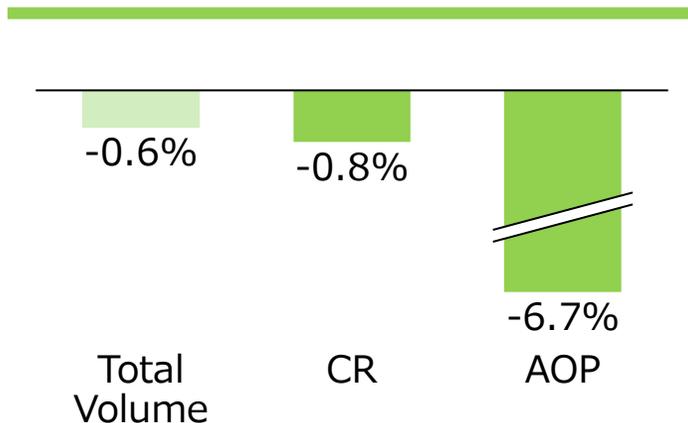
## Others

- Ploomへの投資強化
- インフレに伴うサプライチェーンコストの増加

## FX

- 円安によるポジティブな影響はあるものの、一部新興国通貨安及びコスト関連通貨高を主因に、調整後営業利益に対しネガティブに発現

## ASIA



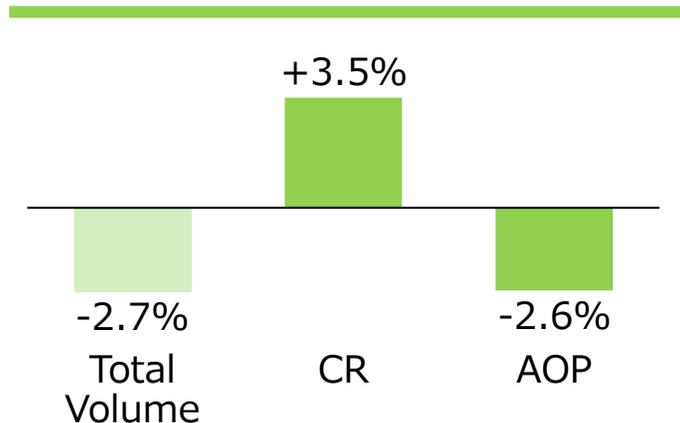
### Total Volume

- フィリピン・台湾における市場シェア伸張
- 日本におけるPloomの伸長
- 日本・フィリピン・台湾におけるCombustibles総需要の減少

### CR/AOP

- 複数市場で発現したプライシング効果が、ネガティブな数量効果を一部相殺
- サプライチェーンコストの増加

## WESTERN EUROPE



### Total Volume

- イタリアをはじめとした複数市場における市場シェア伸張
- Ploom投入市場における数量貢献
- 英国等におけるCombustibles総需要の減少

### CR/AOP

- 英国を中心に発現したプライシング効果が、ネガティブな数量効果を相殺
- Ploomの地理的拡大に伴う投資強化
- サプライチェーンコストの増加

## EMA



### Total Volume

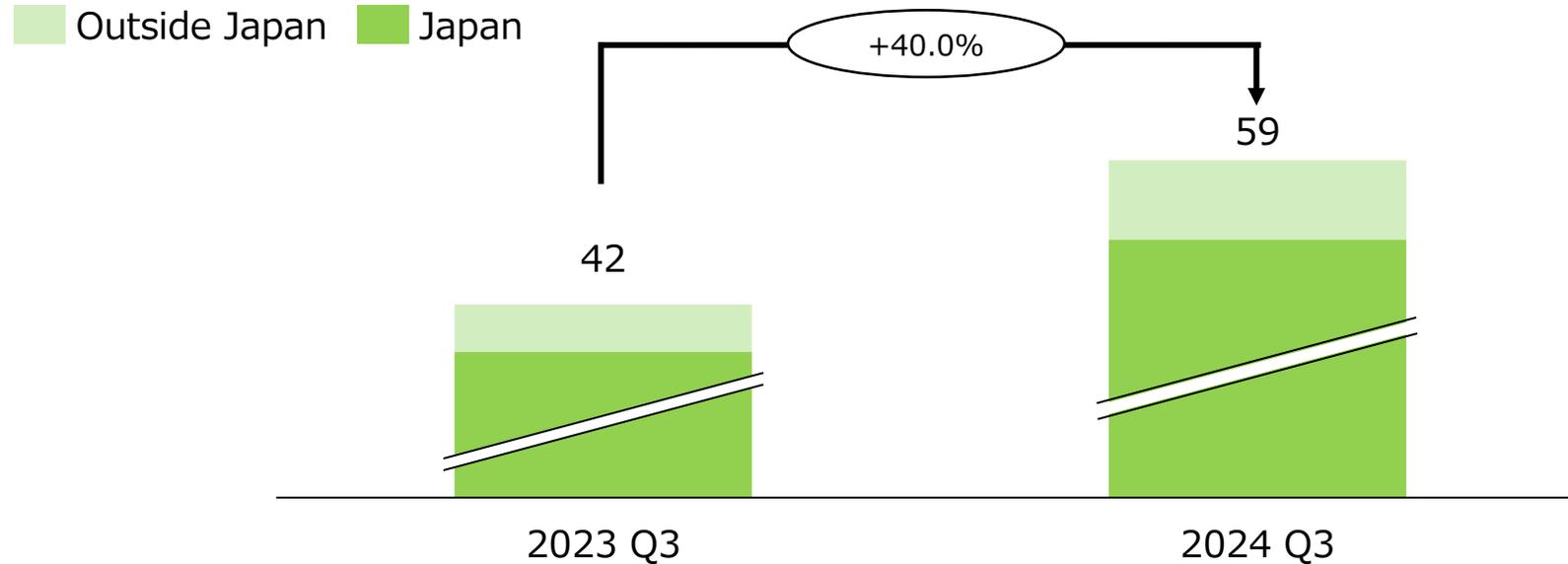
- 多くの市場における市場シェア伸張
- Global Travel Retailの回復
- 堅調な総需要

### CR/AOP

- ポジティブな数量効果
- 複数市場におけるプライシング効果
- Ploomの地理的拡大に伴う投資強化
- サプライチェーンコストの増加

# たばこ事業 Ploom販売数量： 日本における継続的な伸長及び海外市場での着実な貢献により引き続き増加

## Ploom 販売数量（億本、1-9月累計）

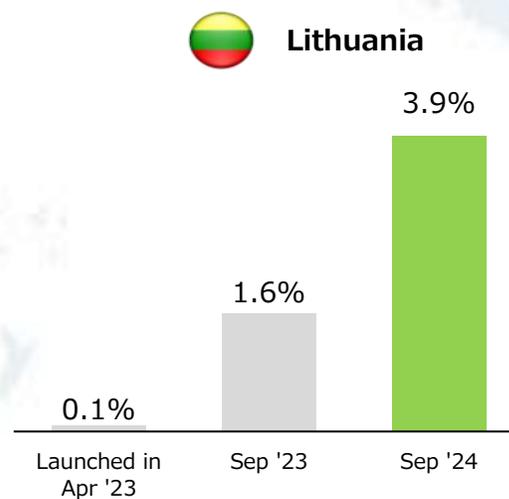
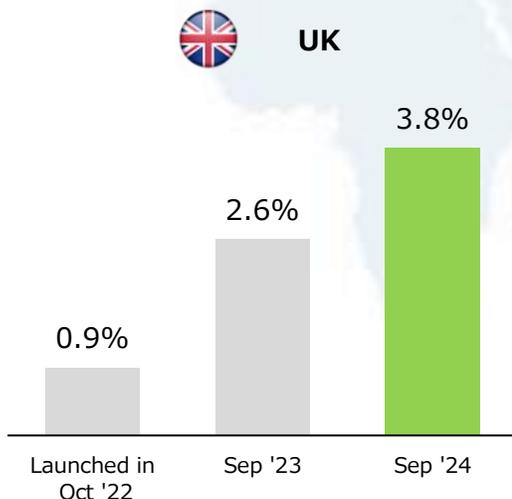
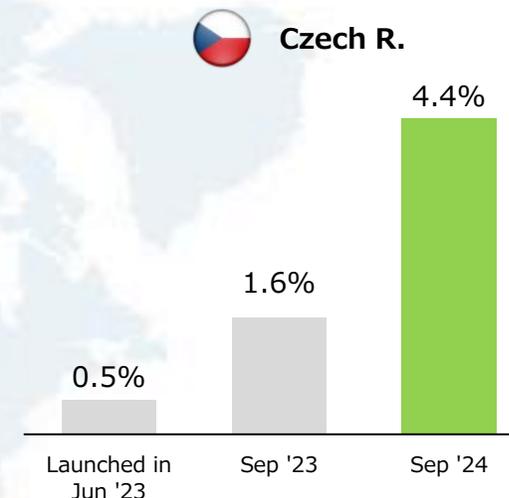
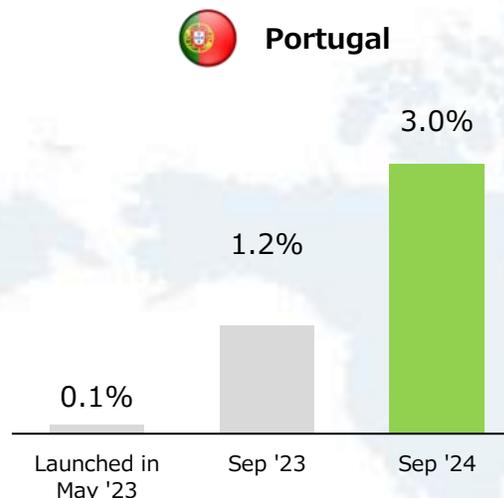
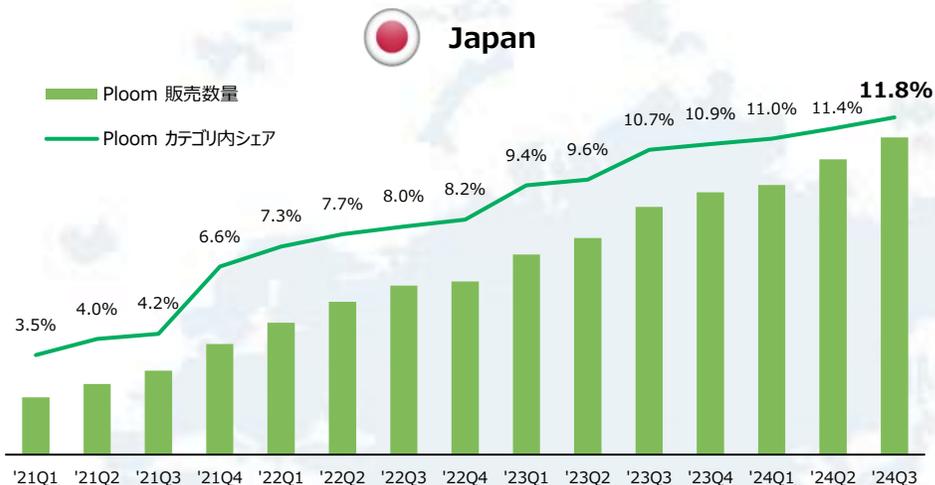


- Ploomについては24年10月からヨルダン・フィリピンで販売を開始しており、10月末時点の展開市場数は23市場まで拡大。11月には韓国において販売を開始予定
- 市場数の拡大及び各市場における継続的なマーケティング施策の実施により、Ploom販売数量は着実に伸長
- Ploom販売数量の増加に伴い、RRP関連売上収益も前年同期比約22%増加

# たばこ事業 Ploom Global Overview : 各市場においてカテゴリ内シェアの着実な成長が継続



## PloomのHTSカテゴリ内シェア<sup>1) 2)</sup>



1) 日本のシェアは四半期ベースのカテゴリ内シェア 2) 日本以外の市場はローンチエリアにおけるカテゴリ内シェア © Copyright JT 2024

## 本買収の戦略的意義

- **CombustiblesにおけるROI改善**

金額ベースで世界最大\*かつ最も収益性の高い市場の一つである米国において、約90億本の販売数量を追加的に獲得

- **米国市場におけるプレゼンスの拡大**

米国における市場シェアは2.4%から約8.2%へ増加\*\*  
米国の紙巻たばこ上位10ブランドのうち2ブランドを保有  
(Montego及びLD)  
販売網の拡大を通じた競争力の強化

- **財務基盤の強化**

為替変動の影響を受けづらいハードカレンシーによる安定的な  
キャッシュ・フローの創出及び中長期に亘る利益貢献



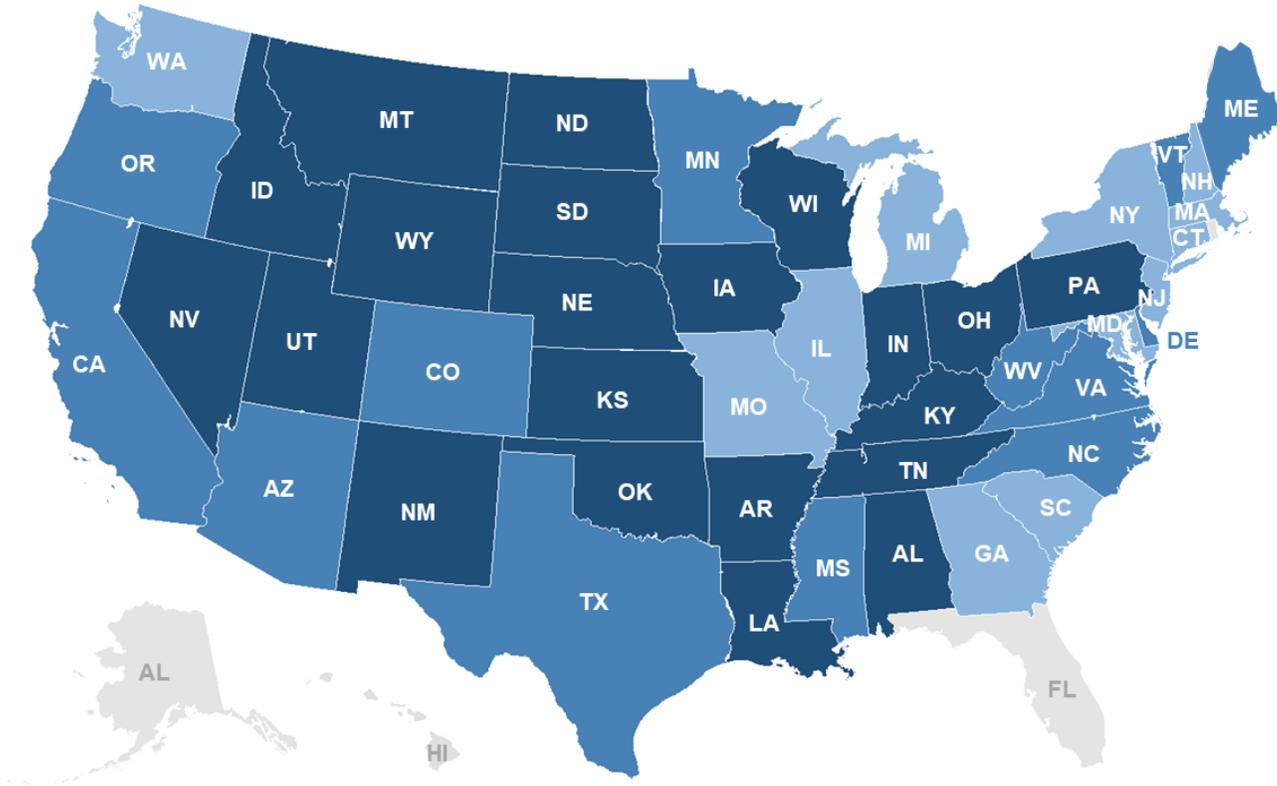
\*中国を除く

\*\*2024年1-9月期における市場シェア

# Vector Group Ltd. (VGR) の買収

## JTI+VGR combined SOM by states

21 states with >10% SOM    13 states with 5-10% SOM  
12 states with 1-5% SOM    4 states with <1% SOM



Source: MSAi Q3'24

- 本買収により、JTグループは米国における第4位のポジションを獲得
- 米国におけるfootprintの大幅な拡大
  - 販売エリアは34の州から米国全土へ
  - 販売店の数は約2倍へ
  - 流通チャネルの拡充
- Montego及びLDは、2021年以降成長している上位5ブランドのうち2つ



## 医薬事業

(億円)	2024年 1-9月	前年同期比 増減
売上収益	670	▲28
調整後営業利益	52	▲80

### 売上収益

- 鳥居薬品において、皮膚疾患領域及びアレルギー領域の売上伸長があったものの、2023年に発生した導出品のライセンス契約に係る一時金収入の剥落や海外ロイヤリティ収入の減少により、減収

### 調整後営業利益

- 売上収益の減収に加え、研究開発費の増加により減益

## 加工食品事業

(億円)	2024年 1-9月	前年同期比 増減
売上収益	1,135	+20
調整後営業利益	64	+17

### 売上収益

- 前年度及び今年度を実施した価格改定に加えて、調味料事業における堅調な販売により、増収

### 調整後営業利益

- 売上収益の増加が原材料費の高騰影響等を上回ったことにより、増益

# 2024年度 修正見込

---

- JTI-MCは、カナダにおける喫煙と健康に関する訴訟及び医療費返還訴訟すべての終局的な解決を企図して、CCAA手続内において、BAT及びPMIの現地子会社と共に、訴訟原告との間で、非公開による調停手続を進めてきたところ。現地時間2024年10月17日に調停人が再生計画案を公表
- 提案された再生計画案が最終的に承認された場合、被告各社は総額325億カナダドル（約3兆4,400億円）の和解金を支払う
  - カナダ国内における各社の現金及び現金同等物から運転資金として750百万カナダドルを控除した金額を頭金として支払う
  - 各社の税引後純利益（RRPからの創出分等を除く）の一定割合に基づく年次支払を和解金総額が支払われるまで継続
- JTI-MCは、非常に複雑な手続である中でも、多くの点で進展があったと認識。和解に向けた動きを支持するものの、現在の再生計画案にはいくつかの重要な課題があり、同意することはできないと考えている。そのため、裁判所に対して再生計画案を支持しない旨を伝え、また解決に向けたプランを2024年10月24日に提出

\*2024年9月末時点の、JTI-MCの保有する現金及び現金同等物は、約1,580億円。  
なお、再生計画案では、たばこ会社間における和解金の按分方法については未解決である旨明記。

# 2024年度 全社修正見込

(億円)	2024年 修正見込	対前回見込 増減	前年度比
為替一定ベース			
Core revenue	<b>29,535</b>	+975	+8.2%
調整後営業利益	<b>7,740</b>	+290	+6.3%
財務報告ベース			
売上収益	<b>31,635</b>	+545	+11.3%
調整後営業利益	<b>7,460</b>	+360	+2.5%
営業利益	<b>6,880</b>	+280	+2.3%
当期利益	<b>4,670</b>	▲80	▲3.2%
FCF	<b>1,560</b>	▲2,200	▲2,877億円

注：IAS第29号超インフレ会計の適用に伴い、上記の表に記載の財務報告ベースの見込は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースについては、特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の通年の増加分について、一定の算出方法を用いて控除しています。

## 売上収益・ 調整後営業利益

為替一定・財務報告ベース共に上方修正

### 売上収益：

- たばこ事業及び医薬事業の上方修正を織り込み、上方修正
- VGRの買収効果

### 調整後営業利益：

- 全事業において上方修正
- ネガティブな為替影響は前回見込比で縮小する見込み

## 営業利益・ 当期利益

営業利益は上方修正するも、当期利益は下方修正

- **営業利益**：調整項目における費用の増加を織り込むものの、調整後営業利益の上方修正により、上方修正
- **当期利益**：金融損益の悪化及び法人税負担の増加に加え、VGR買収関連費用を反映し、下方修正

## FCF

対前回見込 ▲2,200億円

- 調整後営業利益の上方修正を織り込むものの、VGRの買収対価支払いにより下方修正

# 2024年度 たばこ事業：修正見込 力強いビジネスモメンタム及びVGRの買収効果により上方修正

## 数量前提

	2024年 修正見込	前回見込
総販売数量	前年度比 約+1.0%	前年度比 ▲1.0%~▲0.5%

## 数量前提

「前年度比約+1.0%」に上方修正

(+) 複数市場における想定を上回る総需要の推移及び市場シェアの伸張

## 財務見込

(億円)	2024年 修正見込	対前回見込 増減	前年度比
自社たばこ製品 売上収益	27,920	+450	+12.6%
(同 為替一定)	27,020	+970	+9.0%
調整後営業利益	7,890	+340	+5.2%
(同 為替一定)	8,170	+270	+9.0%

## 財務見込 為替一定ベース

自社たばこ製品売上収益：対前回見込 +970億円  
調整後営業利益：対前回見込 +270億円

- (+) 力強いプライシング効果及び総販売数量の上方修正を反映
- (+) VGRの買収効果
- (+) サプライチェーンコストの低減
- (-) Ploom及びCombustiblesへの投資強化

## 財務見込 財務報告ベース

自社たばこ製品売上収益：対前回見込 +450億円  
調整後営業利益：対前回見込 +340億円

注：IAS第29号超インフレ会計の適用に伴い、上記の表に記載の財務報告ベースの見込は超インフレ会計の影響を含みます。為替一定ベースについては、特定市場のハイパーインフレーションに伴う売上及び利益の通年の増加分について、一定の算出方法を用いて控除しています。

# 2024年度 医薬事業・加工食品事業：修正見込

## 医薬事業

(億円)	2024年 修正見込	対前回見込 増減	前年度比 増減
売上収益	<b>940</b>	+10	▲9
調整後営業利益	<b>80</b>	+10	▲94

### 売上収益

対前回見込 +10億円

- 鳥居薬品における増収を織り込み、上方修正

### 調整後営業利益

対前回見込 +10億円

- 売上収益の上方修正に加えて、研究開発費の精査等の影響を織り込み、上方修正

## 加工食品事業

(億円)	2024年 修正見込	対前回見込 増減	前年度比 増減
売上収益	<b>1,560</b>	▲5	+21
調整後営業利益	<b>75</b>	+5	+7

### 売上収益

対前回見込 ▲5億円

- 各製品の足元の販売動向を織り込み、売上収益の見通しを精緻化

### 調整後営業利益

対前回見込 +5億円

- 原材料費等の事業コストの悪化が前回見込を上回るものの、販管費等の効率的な執行に努めることで、上方修正

# **Closing remarks**

---

## 1-9月期実績

- たばこ事業において、プライシング効果が力強く発現し、全社のトップライン成長を牽引
- 全社為替一定ベースの調整後営業利益は、たばこ及び加工食品事業の堅調な実績により、前年同期比2.6%の成長

## 修正見込

- たばこ事業における力強い Momentum に VGR の貢献も加わり、全社為替一定ベースの調整後営業利益を上方修正。Mid to high single digit となる 前年同期比 6.3% の成長を見込む
- 当期利益は、好調な事業パフォーマンスを見込むものの、金融損益の悪化及び法人税負担の増加に加え、VGR 買収関連費用を織り込み、前回見込と同水準

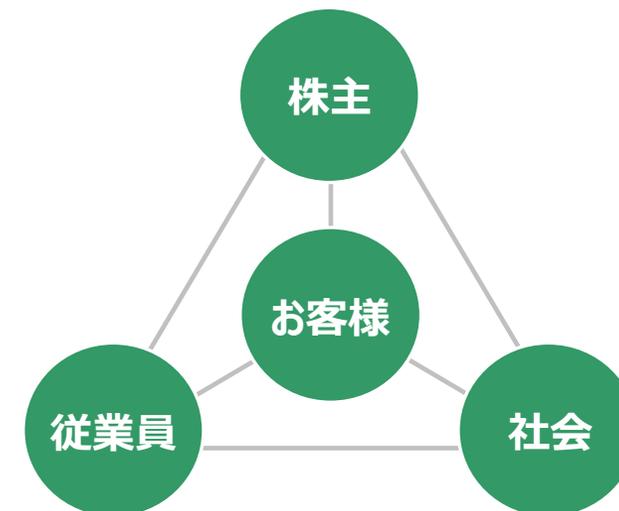
## Vector Group Ltd. 買収

- 米国市場におけるプレゼンス強化を通じ、Combustibles における ROI を改善
- ハードカレンシーによる持続的なキャッシュ・フローの創出及び中長期に亘る利益貢献を通じた財務基盤の強化

## 株主還元

- 一株当たり年間配当金予想は、当初の194円から変更なし

心の豊かさを、  
もっと。



# <用語の定義>

調整後営業利益（AOP）：

営業利益 + 買収に伴い生じた無形資産に係る償却費 + 調整項目（収益及び費用）\*  
\*調整項目（収益及び費用）= のれんの減損損失 ± リストラクチャリング収益及び費用等

為替一定ベース：

前年同期の為替レートを用いて換算／算出することにより、為替影響を除いた指標。ただし、為替一定ベースの実績は追加的に提供しているものであり、国際財務報告基準（IFRS）に基づく財務報告に代わるものではない

為替一定ベースcore revenue：

前年同期の現地通貨対米ドル、米ドル対円の為替レートを用いて換算／算出することにより為替影響を除いた自社たばこ製品売上収益 + 医薬事業・加工食品事業・その他の売上収益。ただし、為替一定ベースの実績は追加的に提供しているものであり、国際財務報告基準（IFRS）に基づく財務報告に代わるものではない

当期利益/四半期利益：

親会社の所有者に帰属する当期利益/四半期利益

Reduced-Risk Products (RRP)：

喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品。当社製品ポートフォリオにおけるheated tobacco sticks (HTS), infused-tobacco capsules (Infused), E-Vapor, 無煙たばこ製品等が含まれる

Heated tobacco sticks (HTS)：

高温加熱型の加熱式たばこ。1スティック = RMC1本として換算

Combustibles：

製造受託／水たばこ／加熱式たばこ／無煙たばこ／E-Vaporを除く可燃性のたばこ製品

GFB：  
(Global Flagship Brands)

Winston、Camel、MEVIUS、LDの4ブランド

## <用語の定義>

総販売数量： 水たばこ／製造受託／RRPデバイス及び関連アクセサリーを除くたばこ製品の販売数量

Combustibles販売数量： 水たばこ／E-Vapor／無煙たばこ（Snus・ニコチンパウチ）／加熱式たばこ／製造受託を除くたばこ製品の販売数量

RRP販売数量： Reduced-Risk Products (RRP)の販売本数（RMCとして換算）。デバイス/関連アクセサリー等は含まない

Ploom 販売数量/HTS 販売数量 Heated tobacco sticks (HTS)であるPloom の販売数量。デバイス／関連アクセサリー等は含まない

自社たばこ製品売上収益： 物流事業／製造受託等を除く売上収益